

新羽中だより

令和3年12月1日(水)
12月号
横浜市立 新羽 中学校
☎542-1680 FAX 541-1038

インクルーシブスポーツフェスタに参加して

校長 荻野 弘

11月21日(日)の午前中、横浜市スポーツ協会主催で三ツ沢公園補助陸上競技場を会場として行われた“インクルーシブスポーツフェスタ2021”に参加してきました。「誰にでもできる」をキーワードにいくつかの体験プログラムが用意されていました。インクルーシブスポーツとは、年齢、性別、国籍、障がいの有無に関わらず誰にでも楽しめるスポーツのことです。私もいくつか体験してみました。まずは、タンデムバイク体験で、2人乗りの自転車です。実際の競技では、前に健常者の選手(パイロット)、後ろに視覚障害の選手が乗り、順位を争います。体験では後ろに乗せてもらいました。前に乗っているインストラクターの方から「目を閉じてみてください。」と言われ、試してみました。今まで目を閉じて自



転車に乗ることなどありませんので、心配でしたが恐怖感はありませんでした。風を感じ、とても不思議な感覚でした。次は、車いす陸上競技体験でした。レーサーと呼ばれる早く走るように工夫された競技用の車いすに乗り両手で車輪を回します。回転が速いので自走する時に回すハンドリウムは握らず、手のひらを開いたままで、後ろから前へ勢いよく回転させるのが速く走るコツです。今までの体験した普通の車いすとは比較にならない



速さでとても驚きました。一番おもしろかったのは、「モルック」とよばれる競技です。モルックという木製の棒を投げて、スキットルと呼ばれる1~12の数字が書かれた12本の木製のピンを狙って投げて倒し、ちょうど50点を取ったら勝ちというルールで行われるものです。1本だけ倒れればそのピンに書かれている数字が得点となり、複数倒れれば、その倒れたピンの数が得点となります。ピッタリ50点でなければ勝ちにはならず、50点を超えてしまうと25点からやり直しになるので、特に終盤は計算力とピンを倒す技能が求められる頭と体を使う競技です。私も体験させていただきましたが、思うようにねらったピンにあてることができず、計算力を働かせる以前の問題でした。

短い時間でしたが、少しだけパラスポーツの楽しさを体験できたとともに、「誰にでもできる」もので体を動かすことや夢中に取り組むことのおもしろさを実感することができましたこの時体験した以外でも学校現場で取り入れることのできるパラスポーツがまだまだたくさんあると思います。誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型のスポーツ活動を推進していくことで、共生社会の実現に向けて一歩ずつ歩みを進めていければと感じた一時でした。

全く別の話になります。たまに近隣の方々にご迷惑をおかけしていることがあり、連絡をいただくのですが、今回はとてもうれしい話だったので載せたいと思います。10月20日(水)16時半頃、小5の男子が北新横浜駅前交差点でカートに犬を乗せて渡っていたところ、カートが倒れ、犬が逃げってしまったとのこと。信号が変わってしまい、茫然としているその子に中学生10人ほどの男子が駆け寄り助けて、男子も犬もカートも無事だったそうです。お母さまから感謝の電話を頂きました。生徒の皆さんには、正しいことや人のためになることを当たり前にする人になってほしいと願っています。関わってくれた皆さんありがとうございました。ただし、交通事故には十分注意してください。

国際理解教室を行いました！！

11月10日(水)、2年生を対象として国際理解教室を行いました。これは主に市内の小学校で外国出身の講師が出身国の生活や文化を英語で紹介する授業を中学校でも実践するという試みを港北区中学校教育研究会の英語科部会の授業研究会に合わせて行いました。

1クラスを5～6人でグループをつくり、グループごと衣食住や学校のことなどからテーマを決め、約7分ごと順番に移動してくる6名の外国人講師に英語で質問をして、会話をつなげるという活動です。昼食をテーマにしているグループの様子を見ていました。フィリピン出身の講師に昼食は何が好きですかと質問し、「バーベキュー」と答え、みんな「おいしそ



えー」言い、スリランカ出身の講師が「毎日、カレーを食べている」と答えるとみんな「ええー」驚き、様々な国の食文化の違いに驚くとともに、外国人講師の方々は、生徒たちの言葉をしっかりと聞き取り、ゆっくりとわかりやすく話してくれるので、生徒たちも自信をもって英語で会話をすることができ、生き生きと授業に取り組んでいました。英語への興味と意欲を高めてくれれば、うれしいです。

(校長 荻野)

【ホームページ掲載のため、生徒氏名はイニシャルにしています】

生徒たちの感想です！！

私は異文化について知ることが好きです。自分の全く知らないところの文化について学ぶことのできる今回の国際理解教室がとて楽しみでした。いざ始めると緊張して思うように質問や回答ができませんでした。でも2、3人めからは段々慣れてきて、積極的に話しかけたり、リアクションが取れたりできるようになって、自分の力が発揮できるようになりました。今回は学校に関することしか質問できなかったですが、次は学校以外の文化についても聞いてみたいです。

2-1 M. A

国際理解教室の授業を受けて、国ごとでの英語の使い方や言い回しが違うことを学びました。今回、私のグループはイベントということで体育祭や文化祭、合唱コンクールについて質問をしました。あらかじめ決めていた質問だけでなく、お話を聞かせてもらって気になった部分を質問して聞くことができました。普段の授業では、聞かれた質問に答えたり、決められた質問で友達と会話したりするといったやり方ですが、今回は自分たちで質問を考え、自分たちで聞くというやり方でした。思ったよりも難しくグループの人の質問

とかぶったりもしてしまいましたが、かぶらないように変えたりなど頑張りました。本番では、相手の方から体育祭にはどんな競技があるのと聞かれ、日本語で答えてしまったところもありました。その時はイラストを使って説明したり、グループの人が助けてくれました。今回の授業を受けて、普段の英語の授業に生かせるところが多々あったので、生かしていきたいと思います。

2-2 S. A

僕は国際理解教室でたくさんのことを学びました。その中で一番興味を持ったのが学校の昼食のことです。日本では、大体自分の教室の中で弁当か給食を食べるけれど、外国の学校では、外で食べたりバイキング形式のカフェテリアがあったりと国によって様々な違いがあるようです。また、フィリピンでは、学校内でクリスマスパーティーが開かれて、生徒たちがみんなでクリスマスチキンをつくるそうです。それぞれの国の慣習は文化や宗教が強い結びつきがあるのだと思いました。

2-3 K. T

体育館改築日記 2

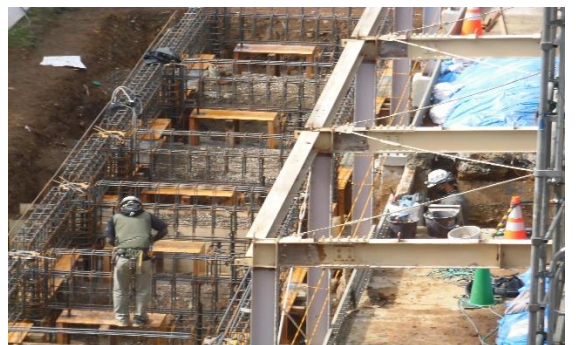
定期テストの際の騒音対策のために日程を変更したことで、若干、予定より遅れ気味とのこと。3月には使用できるようになってほしいものです。休日を返上し、また暗くなくても作業していただいています。感謝です。



クレーン車で屋根の部分の鉄筋やその他重量のあるものを運び入れています。(9/29)



屋根をはがして、鉄筋の部分のペンキの塗り直しや補修をしています。(9/30)



付帯設備の部分を広げています。広い倉庫になります。(10/11)